

# M I R A I K E N

Fukushima Mirai  
Kenkyukai





# CONTENTS

創設者の言葉	3
助成事業	5
◇ 清水奨学金	6
◇ 子ども食堂	7
◇ プロパー助成	9
◇ ふくしま未来基金	12
再生可能エネルギー事業	19
◇ 太陽光発電事業	20
◇ 福島復興風力(同)への参画	20
◇ 大型風力発電事業	21
◇ 小形風力発電事業	21
◇ 洋上風力発電事業	21
◇ 福島水力発電促進会議の設立	22
◇ 小水力発電事業	22





地域活性化事業 .....	23
◇ 中心市街地活性化 .....	24
福島県立医大新学部誘致事業 .....	24
福島駅東口地区 第一種市街地再開発事業 .....	24
◇ 魅力ある地域づくり活動 .....	24
飯館村プロジェクト .....	24
信夫山プロジェクト .....	25
横森フラワーガーデンと 吾妻山麓醸造所 .....	25
◇ 経営支援活動 .....	25
財団概要 .....	26



## 創設者の言葉

### 30年後の福島を もっと元気に

東日本大震災によって多くの方々が家族や友人を失い、社会生活が困難になるなど、福島県は未曾有の危機に直面しました。

「ふるさとの未来のために何かをしたい」、「30年後の福島も元気であってほしい」という思いから、東日本大震災により深刻な被害を受けた福島を支援し、その復興と発展を後押しするため、一般財団法人ふくしま未来研究会を設立しました。

当財団は、被災地の経済および文化的な発展を積極的に支援することを使命とし、様々な取り組みを行っています。具体的には、地域の復興に必要な資金やリソースを提供し、地元の企業や団体をサポートしています。さらに文化イベントやスポーツイベントなどを通じて、地域コミュニティの活性化にも努めています。

私たちは、被災地の皆様と共に地域の魅力や可能性を再発見し、これまで以上に活気あふれる地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

今後も福島の実現のために邁進してまいりますので、皆様のご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

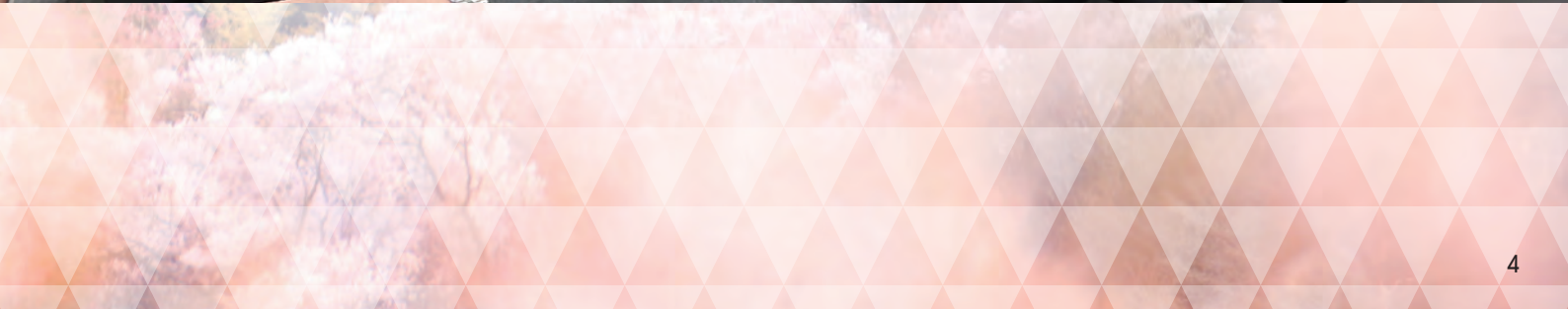
佐藤 勝三







笑顔あふれる  
福島を願う







## 助成事業で元気にする

ふくしま未来研究会は、福島を元気にする活動を行っている個人・団体を応援しています。

中でも毎年篤志家(企業)から寄せられた寄付金を有効に活用し、その活動を金銭的に支援します。





## 給付型奨学金

## 清水奨学金

進学希望の生徒さんを  
支援します

2017年度に本制度を創設し、高校進学予定の中学3年生を対象にした給付型の奨学金「清水奨学金」を継続して実施しています。

この奨学金は高等学校等への進学準備資金として活用できます。



## ふくしま未来研究会清水奨学金とは



未来を切り開き、地域の誰もが生き生きと暮らせるふるさとを将来にわたって継承・発展させる人材育成のために、ご入用の時期に役立てていただく給付型（返還不要型・他の奨学金と併用可）の奨学金です。

経済的理由により就学困難な家庭で、生活保護または就学援助制度を受けている生徒に対し、1人あたり10万円を給付しています。

## 募集地域

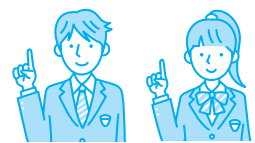
教育委員会の募集活動協力が得られる地域で、5年間限定で奨学生を募ります。（随時見直しています）

福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市、会津若松市、喜多方市、白河市、伊達郡(3)、安達郡(1)、相馬郡(2)、南会津郡(4)、耶麻郡(4)、河沼郡(3)、大沼郡(4)、西白河郡(4)、東白川郡(4)

注)福島市：令和4年終了

伊達市・伊達郡：令和5年終了

## 給付実績



暦年	対象人数	給付額
2017年	118人	¥11,800,000
2018年	177人	¥17,700,000
2019年	330人	¥33,000,000
2020年	508人	¥50,800,000
2021年	653人	¥65,300,000
2022年	550人	¥55,000,000
2023年	539人	¥53,900,000

累計 2,336人／累計給付額 287,500,000円

## 広告協賛金

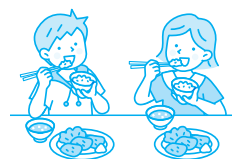
## 子ども食堂

## その活動を助成・支援します

「子ども食堂」とは、子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂のことで、NPO法人や任意団体及び個人が運営しています。

全国には、2022年末まで7,000箇所以上の「子ども食堂」があり、福島県内にも100箇所以上あります。

ふくしま未来研究会では、2017年度より「子ども食堂」の活動を行う団体・個人への広告協賛金助成を行ってきました。1件あたり20万円を広告協賛金として助成しており、2023年までの7年間の助成累計額は7,040万円となっています。



## 子ども食堂助成数・子ども食堂数の推移

暦年	①当財団助成数				②福島県子ども食堂ネットワーク加盟数			③全国子ども食堂支援センターむすびえ調査		
	財団助成先	増加数	増加率	財団助成額	福島県加盟数	増加数	増加率	全国子ども食堂数	増加数	増加率
	2017年4月助成スタート				2017年8月発足(加盟は任意)			2017年8月発足・調査スタート		
2017年	4	—	—	¥800,000	6	—	—			
2018年	21	17	525.0%	¥4,200,000	11	5	183.3%	2,286	—	—
2019年	32	11	152.4%	¥6,400,000	15	4	136.4%	3,718	1,432	162.6%
2020年	47	15	146.9%	¥9,400,000	22	7	146.7%	4,960	1,242	133.4%
2021年	64	17	136.2%	¥12,800,000	28	6	127.3%	6,007	1,047	121.1%
2022年	85	21	132.8%	¥17,000,000	64	36	228.6%	7,331	1,324	122.0%
2023年	99	14	116.5%	¥19,800,000						
2024年	121	22	122.2%	¥19,965,000						
累計	352			¥90,365,000						

②福島県子ども食堂ネットワーク加盟数:当ネットワークに加盟した子ども食堂数(福島県内の子ども食堂の指導的役割を果たす任意団体)

③NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ調査:当NPO法人が2022年に調査した子ども食堂数(全国の子ども食堂の指導的役割を果たすNPO法人)



子ども食堂からのメッセージ

初めまして  
 本参加させて  
 頂いた澤村です。  
 ご協力下さり  
 感謝いたします。  
 ありがとうございます。



ふくしま未来研究会様  
 この度は、ありがとうございます。  
 子ども達もよほど喜んでます。  
 皆様のご支援、感謝いたします。



ふくしま  
 未来  
 研究会  
 さま  
 いつもありがとうございます



いつもあか  
 ありがとうございます



ふくしま未来研究会様へ  
 いつもありがとうございます。  
 やう

ふくしま未来研究会様  
 子供たちが笑顔になる時間が、  
 子育ての原動力になります。いつもいただいている  
 ご支援が、私にも親の力にもつながって  
 おります。本当にありがとうございます。  
 11.14の母 (一児)



いつも大変お世話に  
 なっております。利用の機会も  
 と子供達の笑顔も同様に喜  
 びます。ふくしま未来研究会様  
 へ、本当にありがとうございます。  
 今後ともよろしくお願いいたします。



いつも楽しい時間にごようかして  
 くれてありがとうございます。そして  
 ごようかしてくれてくれるの、ス  
 てもあなたかと思えます。  
 これからもよろしくおねがい  
 します。

いつもご支援ありがとうございます！  
 子ども達も毎回 Fun Cafe で楽し  
 ているのも、ふくしま未来研究会様  
 のおかげです!! これからも、子ども達の  
 笑顔を支えて頂きたいです♡  
 けんた母

いつも楽しい時間にごようかして  
 くれてありがとうございます。そして  
 ごようかしてくれてくれるの、ス  
 てもあなたかと思えます。  
 これからもよろしくおねがい  
 します。



POST CARD  
 けんた4才  
 けんた4才

助成金支援

# プロパー 助成事業

よりよい福島市の未来像を  
研究し、実現したい。  
その活動を助成・支援します



ふくしま未来研究会は、福島を元気にする活動を行っている個人・団体を応援しています。中でも毎年篤志家(企業)から寄せられた寄付金を有効に活用し、その活動を金銭的に支援(助成)しています。

## 主な採択団体

1

### 国立大学法人福島大学

ベトナム人留学生 奨学金



日本・ベトナム両国間の発展のため、志の高い留学生を育成するため奨学金制度を設け、2016年度より助成しています。一人当たり年間60万円。2022年度まで、105名、総額6,300万円を助成しています。

助成実績

2016年度(9名)	5,400,000円
2017年度(14名)	8,400,000円
2018年度(16名)	9,600,000円
2019年度(16名)	9,600,000円
2020年度(17名)	10,200,000円
2021年度(19名)	11,400,000円
2022年度(14名)	8,400,000円
2023年度(7名)	4,200,000円

2

### 福島県立図書館

「県民の暮らし応援文庫」に対し図書寄贈



図書館資料として広く県民の利用に供することにより、県民のくらしを支援するため、2016年度より図書寄贈を行っています。2022年度まで、総額650万円分の図書を寄贈しています。

助成実績

2016年度	1,000,000円
2017年度	1,000,000円
2018年度	1,000,000円
2019年度	1,000,000円
2020年度	1,000,000円
2021年度	1,000,000円
2022年度	500,000円
2023年度	500,000円



## 主な採択団体

3

### 光のしずく事業実行委員会

「光のしずくイルミネーション事業」広告協賛



「市民みんなで創造する福島市の冬の風物詩」して開催されているイルミネーション。JR福島駅東口の駅前広場をはじめ、パセオ470がライトアップされ、LED電球約20万球で彩られた樹木が「光のしずく」のように輝き幻想的な光景を織り成します。福島市の冬のイベントとして定着した「光のしずくイルミネーション事業」を2015年度より継続支援しています。

助成実績

2023年度まで、総額2,850万円分の  
広告協賛をしています。

5

### 日本赤十字社福島県支部

支援活動に賛同し活動資金を寄付



日本赤十字社の社旨と活動に賛同し、2019年度より助成しています。2022年度まで、総額700万円の助成をしています。

助成実績

2019年度	2,000,000円
2020年度	2,000,000円
2021年度	2,000,000円
2022年度	1,000,000円
2023年度	1,000,000円

4

### 福島県教育委員会

県立高校運動部・文化部活動



高校生の運動部活動の活性化及び県立高等学校専門学科の設備・備品の充実のため助成しました。2017年度から2021年度まで、総額9,800万円の助成をしています。

助成実績

2017年度	18,000,000円
2018年度	20,000,000円
2019年度	20,000,000円
2020年度	20,000,000円
2021年度	20,000,000円

6

### 株式会社iPSポータル

iPSテクノロジーの実用化を支援している企業に助成



京都大学山中伸弥教授を中心としたiPS細胞に係る特許以外の譲渡を受けiPSテクノロジーの実用化を支援している企業に対し助成しています。2020年度までの助成総額5,000万円。

助成実績

2016年度	10,000,000円
2017年度	10,000,000円
2018年度	10,000,000円
2019年度	10,000,000円
2020年度	10,000,000円

主な採択団体

7

福島ユナイテッド

アカデミーチーム強化・育成事業助成



世界を舞台として活躍する人材の育成を目的に、2015年よりアカデミーユニフォーム「胸」スポンサーをつとめています。

助成実績

2023年度まで、総額2,612万円の助成をしています。

8

福島市振興公社

しのぶの里フォトコンテスト



しのぶの里の「花」や「人」、風景の中でしのぶの里の魅力の再発見をテーマとした「しのぶの里フォトコンテスト」を2015年から支援しています。

助成実績

2023年度まで、総額410万円の助成をしています。

助成実績

2016年度	36件	363,686,000円
2017年度	77件	108,456,000円
2018年度	63件	224,260,000円
2019年度	39件	120,953,000円
2020年度	24件	68,392,000円
2021年度	22件	46,720,000円
2022年度	13件	16,930,000円
2023年度	11件	11,800,000円



その他の採択団体

福島青年会議所・福島民報新聞社・福島県社交飲食業生活衛生同業組合・飯館までい文化事業団・新田茂田川ホテルの里保存会・福島放送・福島民報新聞・うつくしまあるきめです実行委員会・福島大学・足利大学・レグノウェアサポーターズミュージックフロムジャパン・福島とうろう流し発興会・福島中央テレビ・福島放送・ベルフォンテ・未来の祀りふくしま実行委員会・東京大学・福島市まちなか子ども夢駅伝競争実行委員会(福島民友新聞社)・福島ストリートミュージックフェスティバル実行委員会



## 包括的支援

## ふくしま未来基金

パブリックリソース財団  
タイアップ助成事業

「公益財団法人パブリックリソース財団」へふくしま未来研究会グループが約353百万円を寄付し、ふくしま未来基金を創設。福島市を元気にする活動を行っている団体を支援しています。



## 福島30年後を見据えたまちづくりをめざす福島初の地域基金

ふくしま未来基金は、福島が将来にわたり誰もが生き活きと生きていける地域となることに貢献するNPOや社会的企業を支援することを目的に2015年から活動を開始しました。助成金による支援と、団体の組織基盤強化のためのコンサルティング、社会的起業家育成事業、会計等の専門

家派遣事業、コンサルタント養成事業など、非資金的支援を資金的支援と組み合わせて提供しています。

本基金の運営にあたっては、複数の福島市内の中間支援組織や専門家と連携しながら活動しています。

## 包括的支援の内容

## 助成支援

## 未来づくり助成

## 300万円上限の継続支援

30年後の福島を支えるため、その地域または活動分野の中核的な団体を生むことを目指しています。

## まちづくり草の根助成

## 100万円上限の継続支援

被災者の抱える課題や、地域企業が抱える課題の解決に取り組む草の根活動を柔軟に支援しています。

## NPOの組織力を上げる支援



- 助成対象団体へのコンサルティング支援
- 財務会計専門家派遣
- 労務管理支援
- 研修会の開催

## 未来を創る人づくり

## ○ふくしま志高塾

プロジェクトの事業化に向けた各種の支援とともに塾生相互の協力関係づくりを通じ、人としての成長とプロジェクトの実現性・インパクトの向上を目指します。

## NPOを支援する環境づくり

## ○コンサルタント養成入門講座

福島県内のNPOが成果を上げていくためのECOシステムの構築を目指して、NPOの組織力を上げるための支援人材を育成するために開催します。

ふくしま未来基金の成果

助成金支援実績

	未来づくり助成		まちづくり草の根助成		合計
	30団体	84,663,320 円	63団体	55,156,120 円	139,819,440 円
2015年度	5団体	14,900,000 円	8団体	7,550,000 円	22,450,000 円
2016年度	8団体	20,844,000 円	8団体	7,017,300 円	27,861,300 円
2017年度	8団体	22,815,600 円	10団体	8,013,500 円	30,829,100 円
2018年度	5団体	14,937,000 円	10団体	8,358,320 円	23,295,320 円
2019年度	3団体	8,266,720 円	9団体	7,994,000 円	16,260,720 円
2020年度	1団体	2,900,000 円	10団体	8,933,000 円	11,833,000 円
2021年度	—	—	8団体	7,290,000 円	7,290,000 円

非資金的支援

- コンサルティング支援: **28** 件 (2015~2018年度)
- 財務会計専門家派遣先: **6** 件 (2018年度)
- 労務管理支援受講者数: **26** 件 (2018年度)
- 研修会への参加: のべ **107** 名 (2016~2017年度)
  - ミッション・ベースト・マネジメント研修 (2016年度)
  - ファンドレイジング研修 (2016年度)
  - 組織基盤強化フォーラム (2016年度)
  - ファンドレイジング研修 (2017年度)
  - NPO の持続的展開を考える公開研究会 (2017年度)



財務会計専門家派遣の様子



組織基盤強化フォーラム

ふくしま志高塾

- 総受講者数: **20** 名 (2016~2018年度)
  - 2016年度 西みよ子「地域を巻き込んだ地域再生プロジェクト『ふるさとステーション』」
  - 2017年度 杉中慎「STARRING\*STARLINKI」
  - 2018年度 高橋真利恵「訪問カット」



プレゼンテーション大会 (2016年)

NPOマネジメント支援コンサルタント養成入門講座

- 総受講者数: **40** 名 (2016~2018年度)
- 修了生のふくしま未来基金への参画のべ **16** 名
  - 助成対象団体への組織診断実施 / 5名
  - 助成対象団体への専門コンサルティング / 2名
  - 助成団体のロジックモデル作成支援 / 7名
  - ふくしま志高塾生のメンター / 2名

未来づくり助成団体

助成金支援実績

特定非営利活動法人 Lotus(ロータス)



子育て中の家族と、それを支援する地域住民、地域団体及び社会に対して、子育て環境の充実及び地域社会の振興と発展に寄与することを目的としています。

支援内容

福島県産木質玩具の開発を通じて木育子育て「すべてはすべての子どもたちのため」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2015~2017年度 累計助成額:8,541,600円

特定非営利活動法人 よつくらぶ



市民と行政との協働により、賑わいのある、まちづくりに関する地域振興の事業を行うことで、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としています。

支援内容

子どもたちが元気に遊べる場や体験の場、子ども支援活動の拠点形成プロジェクトを支援しました。

助成期間:2015~2016年度 累計助成額:5,100,000円

特定非営利活動法人 超学際的研究機構



原発災害では情報の混乱が住民の不信感を広げた。行政による透明性の高い情報発信と、誰もがアクセスしやすい双方向性の「情報プラットフォーム」の構築を目指しています。

支援内容

「福島の復興再生をめざす『情報プラットフォーム』と『車座会議』の構築」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2015~2016年度 累計助成額:6,000,000円

一般社団法人 Bridge for Fukushima



震災復興には人材の育成が不可欠です。福島県の抱える課題を解決するため、首都圏とのBridge(かけはし)になることをミッションとし、高校生や大学生の人材育成に取り組んできました。

支援内容

「福島リーダー人材育成プロジェクト」を支援しました。

助成期間:2015~2018年度 累計助成額:6,000,000円

特定非営利活動法人 がんばろう福島、農業者等の会



福島県農業に対する応援、支援の仲立ちを行い、福島県農業者と全国の消費者との交流を促進し、新時代の農産物流通を実現していきます。

支援内容

福島の農業者と首都圏企業をつなげる「3Fプロジェクト」を支援しました。

助成期間:2015~2017年度 累計助成額:6,000,000円

GoodDayMarket実行委員会



生産者と消費者が、農産物の魅力を通じて福島の自然の豊かさや農業の役割を知ることから、自然と人が共存する暮らしができる社会を目指しています。

支援内容

定期的なマーケット開催を目指すプロジェクト「グッディマーケット」を支援しました。

助成期間:2016~2017年度 累計助成額:4,500,000円



未来づくり助成団体

助成金支援実績

特定非営利活動法人 福島県有機農業ネットワーク



福島県の地域資源循環型の有機農業を推進する農業者を中心に、県内外の消費者、研究者、団体が広く連携協力してネットワークを組み、健康で安全な農と食の再生をすすめる活動を行っています。

支援内容

「有機農産物の参加型地産地消によるコミュニティ再生」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2016~2017年度 累計助成額:4,500,000円

特定非営利活動法人 コースター



福島の地において、創造的かつ持続的に自己変革していくことができる地域社会の実現を目指し、社会的課題解決に取り組む人材の育成のため社会的基盤整備に関する事業を行い、公益増進に努めてきました。

支援内容

「福島未来を担うコーディネーター育成のためのプラットフォーム構築事業」を支援しました。

助成期間:2016~2017年度 累計助成額:5,340,000円

特定非営利活動法人 みんなのひろば



フリースクールの運営を中心に、自然体験・ものづくり・職業体験などさまざまな活動を通して、主に学校に行っていない子どもとその保護者を支援しております。

支援内容

「ほーかごひろば」新規スタッフ育成による組織基盤強化プロジェクトを支援しました。

助成期間:2017~2018年度 累計助成額:6,000,000円

特定非営利活動法人 Leaf(リーフ)



福島県の農業者の生産支援を行うLeafは2017年3月、三春町に農業の新しい価値創造のアンテナショップ「FukushiMart」をプレオープンしました。

支援内容

経営安定化を目指すプロジェクト「ふくしまの農と食のプラットフォーム『FukushiMart』構築事業」を支援しました。

助成期間:2017~2018年度 累計助成額:6,000,000円

一般社団法人 えこえね南相馬研究機構



省エネや新エネルギーを市民自ら学び、これらをどうまちづくりや復興に活かしていくかを考え再生可能エネルギーの普及に向けた学習・啓蒙及び実践事業を行います。

支援内容

「子どもたちに循環型の未来をつくるコミュニティバイオガスのモデルづくり」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2017~2018年度 累計助成額:5,751,000円

まちづくり草の根助成

助成金支援実績

福島高校スーパーサイエンス(SS)部



福島県立福島高等学校は2007年度文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されました。この部はフランスの高校生と共同で線量調査や視察を行い、学んだ福島の課題を発信しております。

支援内容

放射能の線量調査、陰膳調査、視察を行う「Radiation Protection Workshop in Fukushima」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2015年度

累計助成額:1,000,000円

特定非営利活動法人 いわきFスポーツクラブ



クラブ会員のみならず、地域住民に対して、文化・スポーツ振興並びに子どもの健全育成に関する事業を行い、活力ある豊かな地域社会の実現に寄与することを目的としています。

支援内容

「被災地の体力向上並びにコミュニティ再生支援事業」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2015年度

累計助成額:1,000,000円

特定非営利活動法人 郡山ペップ子育てネットワーク



東日本大震災後の環境下に生きる子どもたちのため、遊び、運動する環境の提供と整備、子どもの心のケア、子育てのアドバイス、放射線に関する知識の啓発活動等を行っております。

支援内容

「子どもの食生活講座の開催・屋内遊び場での臨床心理士による子育て相談会の開催」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2015~2016年度

累計助成額:1,250,000円

フクシマ環境未来基地



2011年6月以降、全国のボランティアと復旧復興支援活動を続けてきました。2015年度は交流促進と拠点づくり、2016年度はボランティアを地元で増やす事業に取り組みました。

支援内容

「いわき市の過疎地域における若者による森づくりと、『木の拠点』を通じた地域づくり活動」プロジェクト・「海岸林再生へ。これからの担ういわき市民ボランティア増加プロジェクト」を支援しました。

助成期間:2015~2016年度

累計助成額:1,900,000円

EIWAN Fukushima (福島移住女性支援ネットワーク)



福島に永住する中国やフィリピン、韓国等の移住女性が地域で主体として活躍できるよう、地元市民との交流を図る事業を、2012年から取り組んでおります。

支援内容

日本語学習支援や交流を図るための「からふる(多文化)ふくしまプロジェクト」を支援しました。

助成期間:2015~2017年度

累計助成額:2,700,000円



まちづくり草の根助成

助成金支援実績

認定特定非営利活動法人 ふくしま30年プロジェクト



東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能健康被害を最小限に食い止めるため放射能汚染の検査体制を確立整備するとともに、放射線防護を「自ら測り、自ら考え、自ら判断」する社会基盤づくりに寄与するため活動しています。

支援内容

放射線測定を行い、それを見える化することで不安を減らす事業「放射能みえる化(放射能測定)により不安を減らすプロジェクト」を支援しました。

助成期間:2015~2017年度 累計助成額:2,800,000円

特定非営利活動法人 青空保育たけの子



福島県と山形県に住む子どもたちがその子らしく成長していくことを見守り、大人も子どもと共に成長することのできる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

支援内容

「よねざわの冒険遊び場で福島在住の子ども避難者の子も一緒に遊んでつながろう」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2016年度 累計助成額:1,000,000円

福島大学災害ボランティアセンター



被災者を継続的に支援する活動に関わりたい学生の受け皿となることを目的に設立。仮設住宅、復興住宅に住む方のコミュニティづくり支援。帰還が進む地域でのまちづくり支援を行っています。

支援内容

『LIFE(生活・人生・いのち)寄り添い』包括サポートプログラムプロジェクトを支援しました。

助成期間:2016年度 累計助成額:817,300円

いいたてまでの会



6,700人余りが全村避難となった飯舘村では、避難生活の長期化でコミュニティが崩壊し村の歴史や伝統文化の継承も困難となった。伝統文化を未来につなごうと2013年度から活動しています。

支援内容

世代間交流を促進し伝統文化をつなぐプロジェクト「飯舘村の子どもたちのための世代間交流による『教育』推進支援活動2016」を支援しました。

助成期間:2016年度 累計助成額:1,000,000円

特定非営利活動法人 勿来まちづくりサポートセンター



まちづくり団体及びまちづくりにかかわる市民に対して「まちづくりを支援」する事業を行い、「活力ある地域づくり」に寄与することを目的としています。

支援内容

「海と親しみ生命を守る水難事故防止のためのライフセービング体験プログラム」プロジェクトを支援しました。

助成期間:2016~2017年度 累計助成額:2,000,000円

### 一般社団法人 オープンデータラボ



データの「見える化」のプロトタイプモデルを様々なセクターと協働で創出しています。この活動を通じ、社会課題解決の支援、企業や行政サービスの向上を目指しています。

#### 支援内容

「復興支援マップの情報開発と自治体連携事業」プロジェクトを支援しました。

助成期間: 2017年度

累計助成額: 1,000,000円

### 福島大学スタ☆ふくプロジェクト



福島大学の学生が運営。住民との交流を通じて地域ファンを増やすために、福島県内外の人に県内各地を訪問していただくスタディーツアーを2012年から実施しています。

#### 支援内容

「福島を感じて考えるスタディーツアー『スタ☆ふく』プロジェクトを支援しました。

助成期間: 2017年度

累計助成額: 713,500円

### 特定非営利活動法人 あさがお



障がい者、高齢者の社会復帰・社会参加、及び要介護、要支援となった場合も、可能な限り居宅で自立した日常生活を営めるよう援助。障がい者が、人間らしく生きる権利の確保に寄与することを目的としています。

#### 支援内容

視覚障がい者の同行援護を行う同行援護従業者養成研修課程の受講を支援する「ともに手をつなぎひかりに」プロジェクトを支援しました。

助成期間: 2017～2019年度

累計助成額: 2,500,000円

### ママチャンネルまつり実行委員会



子育て世代、とくに乳幼児を持つ若い母親は育児の不安を抱えたまま孤立しがちである。それをとりのぞき心地よい子育て環境を創造していきたい。

#### 支援内容

「福島のママによる福島で子育てをする人、応援する人が集えるイベントの実施」プロジェクトを支援しました。

助成期間: 2017～2018年度

累計助成額: 1,497,000円

### 一般社団法人 JAST (日本ソーシャルセラピストアカデミー)



『豊かな社会の実現とその持続に貢献するために、次世代を育む環境づくり、人づくりをテーマに活動を行うこと』を目的としています。

#### 支援内容

「たいせつなのは思いやり『こどもこころの防災師』育成事業」プロジェクトを支援しました。

助成期間: 2017～2018年度

累計助成額: 2,000,000円





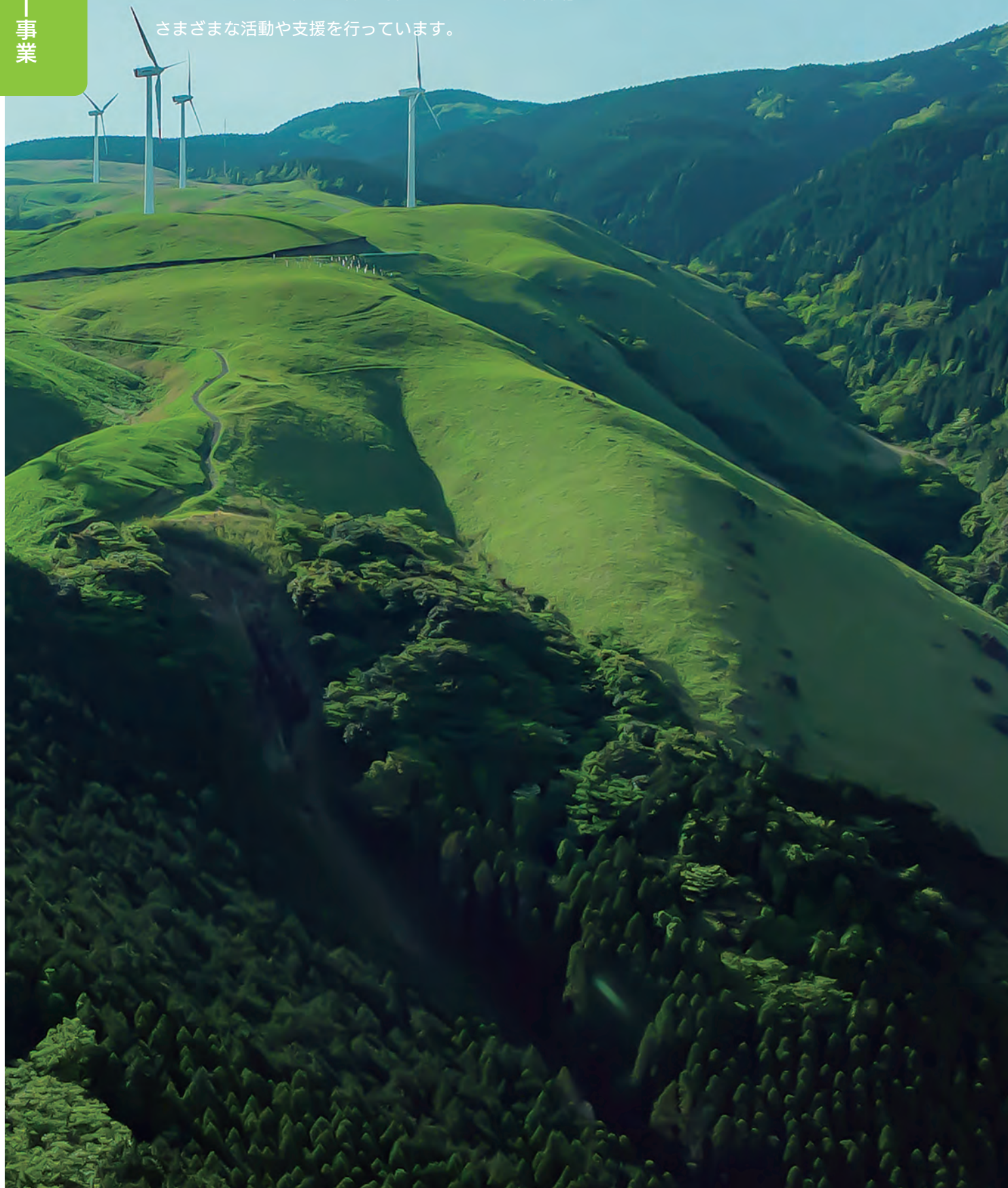
再生可能  
エネルギー事業

## 再生可能エネルギー事業で元気にする

2011年3月の東日本大震災により、被災した福島。

福島県は、原子力に頼らない「再生可能エネルギーの推進」を復興にむけた重要な施策のひとつとし、福島県再生可能エネルギー推進ビジョンを掲げています。

このビジョンに賛同し、「再生可能エネルギー事業計画」としてさまざまな活動や支援を行っています。





## 太陽光発電事業

遊休地も有効活用！

# 広大な土地を活かす 太陽光発電

遊休地などの土地活用が可能な太陽光発電。ふくしま未来研究会では、信夫山福島電力、ジャパン・リニューアブル・エナジーと合同会社へ共同出資し、白河ソーラーパークが設備容量73.9MW、西の郷ソーラーパークが44.0MWで商業運転を開始しています。



大規模太陽光発電所「白河ソーラーパーク」

## 福島復興風力(同)への参画

阿武隈高地の風力発電事業

# 国内最大級の 風力発電所建設へ！

福島県が構想する阿武隈高地への大型風力発電所建設。その理念に共鳴し設立された福島復興風力(同)に参画しています。

2022年6月から設備容量156.4MWの建設が進行中です。



完成予想図

## 大型風力発電事業

## 吾妻高原牧場跡地で風力発電事業 32メガワットの 大型風力で発電！

福島市吾妻高原牧場跡地において、ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社と一般財団法人ふくしま未来研究会及び信夫山福島電力株式会社が共同出資する合同会社吾妻高原ウィンドファームが福島県福島市で「吾妻高原風力発電所（設備容量32.4MW（3.6MW×9基）」を建設。2023年5月商業運転を開始しました。



吾妻高原風力発電所

## 小形風力発電事業（20kW未満）

## 信夫山福島電力の 風力発電事業

北海道及び東北エリアにおいて2018年からふくしま未来研究会グループ企業で稼働しています。



信夫山西の郷小風力発電所

## 洋上風力発電事業

## 福島沖に浮体式洋上風力 発電事業を検討

## 洋上の強く安定した 風力で発電！

洋上の強く安定した風力で発電！

将来に向け福島沖に浮体式洋上風力発電事業の可能性を検討して行きます。

新しい産業、雇用の創出と漁業との共生を目指し、福島県いわき沖において総出力約19～28MW（9.5MWクラス2～3基）の浮体式洋上風力発電事業計画を検討中です。



出典：福島沖浮体式風力発電実証事業



## 福島水力発電促進会議の設立

既存ダムを有効活用し、  
水力発電を促進する！

## 福島水力発電促進会議

既存ダムのポテンシャルに着目し、水力発電促進のため、法令・整備システム等の研究を行う福島水力発電促進会議を設立しました。2040年頃までに県内で使用するエネルギーの100%再エネ化を目指す福島県。今後ほぼ横ばいとされる水力発電も、既存ダムを有効活用すれば発電量の増加が期待できます。水力発電を活性化して、目標の早期達成につなげたいと考えています。



福島水力発電促進会議の様子

## 小水力発電事業

県内の水力資源を活用！

## 小水力発電所の 導入可能性を調査する

阿武隈川や荒川、摺上川など水資源が豊富な  
ふくしま。

小水力発電は環境と地域に密着した「流れ込み式」または「水路式」となります。大規模ダム（貯水池式）、中規模ダム（調整池式）ではなく、河川の水を貯めることなく、そのまま利用する発電方式です。一般河川、農業用水、砂防ダム、上下水道などを有効利用します。



すりかみ浄水場小水力発電所

福島県が檜葉町の木戸ダムで計画している水力発電事業に、ふくしま未来研究会と信夫山福島電力が共同出資を行い、水力発電所を建設、売電を行う事業が2024年2月に稼働予定です。最大出力2,300KWを見込んでおり、PFI（民間資金活用による社会資本整備）の仕組みを活用し、官民一体で再生可能エネルギーを推進していくことを目的とした発電所を目指しております。



木戸ダム管理用水力発電所



## 地域活性化事業で 元気にする

中心市街地の再開発をはじめ  
信夫山(御山)を観光資源にする活動や  
市街地周辺道路整備計画を支援しています。



中心市街地再開発計画

魅力的で暮らしやすい  
福島の実現へ

福島県立医大  
新学部誘致事業



福島県立医科大学 駅前キャンパス (保健科学部)

本事業は、周辺の低・未利用地等を含めた地区を  
対象として、都市機能の更新と高次都市機能の集積を図るため建物の建替え等を再び実施する事業です。

商業、業務、宿泊等に加え、公益施設機能の複合化により、商業や街なか居住等の都市機能の充実、賑わいの創出、交流人口の拡大などを図ります。



福島駅東口地区第一種市街地再開発事業 完成予想図

魅力的で暮らしやすい福島の実現へ

福島駅東口地区第一種  
市街地再開発事業

本事業は、周辺の低・未利用地等を含めた地区を対象として、都市機能の更新と高次都市機能の集積を図るため建物の建替え等を再び実施する事業です。

商業、業務、宿泊等に加え、公益施設機能の複合化により、商業や街なか居住等の都市機能の充実、賑わいの創出、交流人口の拡大などを図ります。

魅力ある地域づくり活動

福島の復興と地域おこしの発信  
飯館村プロジェクト

震災後の被災地における課題解決業務の一環として、飯館村にて大規模営農計画を中心に据えた魅力ある地域づくりの活動を進めています。



※写真はイメージ



魅力ある地域づくり活動

## 福島の復興と地域おこしの発信 信夫山プロジェクト

福島市民のシンボル「信夫山」が福島市を代表する観光地となるよう、ハードとソフトの両面から歴史と自然を活かした事業を展開しています。



信夫山ガイドセンター

## 福島の復興と地域おこしの発信 横森フラワーガーデンと 吾妻山麓醸造所

2020年秋から福島市桜本にて「福島が一望できるフラワーガーデン」を整備しています。子どもからお年寄りまで楽しめるよう、庭園とワイナリーの相乗効果で、福島市の新たな観光名所を目指しています。



横森フラワーガーデンからの景観



桜本展望館と吾妻山麓醸造所

経営支援活動

## 中小企業を対象に 経営支援

福島市を中心とした中小企業を対象に経営支援活動を実施。「30年後の福島を元気にする」を目標に既存企業の業績向上や、創業・起業の支援を行っています。



## ✧ 財団概要

財団名	一般財団法人ふくしま未来研究会
所在地	〒960-8031 福島市大町7-25 アクティ大町ビル5F
連絡先	TEL 024-522-4610 FAX 024-572-7278
設立日	2013年9月26日
目的	30年後を見据え、福島を元気にする活動をおこなう個人・団体の支援、助成
発起人	佐藤 勝三
基金	代表理事の個人資金3,000,000円をもとに発足





